

小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	内山地区	担当班	議員名	担当
参加人数	1 8 人		溝口 誠二	司会進行
開 催 日	平成 2 7 年 7 月 2 9 日 (水)		西上 隆	活動報告 (総務文教)
開催時間	午後 7 時～午後 8 時 3 0 分		原 勝信	(経済産業)
会 場	内山地区福祉センター		大迫 みどり	(市民厚生)
そ の 他	4 班		◎福本 誠作	(広報広聴)
			大迫 みどり 西上 隆	記録・報告書作成

◎班代表者

意見交換会の内容		※□市民の意見	■議員の意見
統一テーマ	「活力ある地域づくりのために ～雇用・結婚・子育て・定住～」		
【意見交換の概要】			
□まずは仕事、地元消防団員が 10 名いるが地元仕事がないので、ほとんどが外に出ている。保育園も学校も無くなった。市長が何らかの対策をしない限り、人口はもっと減るだろう。スローガンはいいが、現実はずかしい。何をしてもどうしようもない所まで来ているが、何もしなければもっと悪くなる。若い者が残らない国の対策が悪い。農業で生活ができないから外に出て行く。			
■須木区自体が、畑も少なく鹿や猪など有害鳥獣の被害もあつたりして、とても農業だけでは食べていけない。林業は林業で衰退していく一方で、何か主となる産業がないのが問題。何か地域の方から意見があれば聞かせてほしい。須木地区は、自然がすばらしく進出したい企業はあるが、企業誘致にインターネット環境が悪いことが、ネックになっている。まずは、インターネット環境の整備が必要。			
□結婚について、独身者が多い。何か「お見合い大作戦」のような大きな取り組みが必要ではないか。			
■県では行っているようだが、市でも出来るようにしてはどうかということで、市に要望していく考えである。今回の意見交換会で、若い方たちの本音の意見が多く聞けたらいいと思っている。			
■必要性は強く感じている。ただ、今の若者たちは、結婚に夢を持っていない。「結婚しなくても今のままでいい」という人が多くなっている。結婚して、出産できるような支援、また、その後の子育て支援など、一般質問や委員会審査を通して要望していく。			

テーマ② 有害鳥獣対策について

【意見交換の概要】

□内山で生活するのには、農業しかない。田・畑・ゆずを作っても国民年金では生活できない。病院に一回行けば5～6千円かかる。米を作っていて昨年から「防護ネット」を頼んでいるが、まだ来ない。

■【調査事項】有害鳥獣対策としての防護ネットは、議会でもすでに上げているが、予算がなくてすべてに、応え切れていない状況である。もう少し強く、このような声があったと伝える。

□今は鹿と猪だが、猿が来たら終わりだと思う。

■【調査事項】広域での取り組みが必要になってくる。県にも相談しながら取り組みたい。

□ふるさと納税の返礼品として、鹿肉は使えないのか。

■駆除した鹿肉を売るのに、マニュアルに沿った解体が必要。解体場を作る必要も出て来る。まだマニュアルができてない。

□狩猟免許を取ったが、1年間はお金がもらえない。早くできないか。

■【調査事項】規定として、わなが1年、銃が3年程度の実績が必要となっている。

自由意見の交換

□市で特老をつくれないか。

■色々な問題がある。要望は伝える。

□干ばつの時、水が足りなく、大川の水を引いてほしいと頼んだが、何の返事もない。写真も撮って出したが、何も言って来ない。土木事務所がさせないとも聞く、出来るか出来ないか返事がほしい。

■【調査事項】担当課に伝え、直接連絡してもらう。

□小学校は解体する方向か。

■【調査事項】今のところない。地域で使用するのであれば可である。

□庁舎建設用木材を保管していると聞いた。保管しておくのなら、山にもう少し置いていても良かった。枝も切り落とさないほうが、早く乾燥した。建設は地元業者を使ってほしい。

【調査事項】 できるだけ地元業者を使うと言っている。

議会活動報告への意見

※□市民の意見 ■議員の意見

※特にありません。